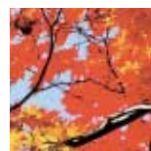
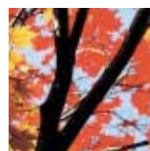
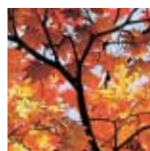
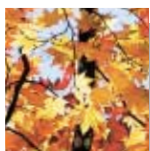
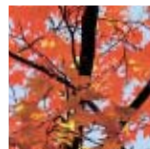




第94期中間事業報告書

(平成14.4.1 ▶ 平成14.9.30)



株式会社 サンエー化研

(証券コード:4234)



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第94期上半期(平成14年4月1日～平成14年9月30日)の中間事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧戴きますようお願い申し上げます。

当期に於ける経済情勢は、金融不安による先行き不安により混迷の度を深めております。極めて厳しい経済環境の中にありましたが、プロジェクト(売上確保、合理化、採算性改善)を強力に推し進め、その成果が現れ始めました。

売上は、不採算部門の整理をいたしましたので、2.47%と微増でしたが、経常利益は約3倍にすることが出来ました。

3年間続けた大型設備投資による新設機の稼動が軌道に乗り始めました。更に、これらの設備の有効活用により、新製品の開発、新市場の開拓に総力を挙げて取り組んでまいります。

また、ISO認証を取得しましたので、これに基づいて、品質管理の更なるレベルアップを進めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年12月

代表取締役社長 **山田 次夫**

1. 当上期の概況

当上期におけるわが国経済は、循環的な回復局面にあると言われながらも、その動きは緩慢であり、実体としてはむしろ株価の世界同時安やアメリカ経済の減速懸念が強く反映され不安定な状況にありました。

このような状況の中にあって、当業界は、これまでの在庫調整が進んだ分野において需要の回復が見られたものの、全般的には極めて鈍い動きで推移いたしました。

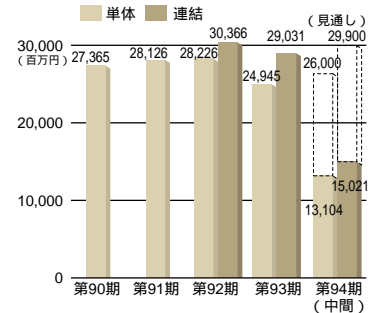
当社グループ(当社及び関係会社)におきましては、期首に掲げた軽包装、産業資材、機能性材料の三部門それぞれがプロジェクトを組織し、特化した製品の拡販と新規開拓を強力に推進してまいりました。

その結果、当上半期における業績は、売上高131億4百万円(前年同期比2.5%増)、経常利益5億60百万円(前年同期比214.9%増)、中間純利益2億90百万円(前年同期比189.7%増)と増収、増益となりました。また、連結ベースでは売上高150億21百万円(前年同期比1.3%増)、経常利益6億46百万円(前年同期比150.8%増)、中間純利益は3億53百万円(前年同期比137.1%増)となりました。

次に当上半期の単体における部門別の売上高と営業概況についてご報告いたします。

部門別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装部門	6,369百万円	48.6%	5.0%減
産業資材部門	3,805百万円	29.0%	2.8%減

売上高



機能性材料部門	2,301百万円	17.6%	26.1%増
その他	629百万円	4.8%	83.0%増
合計	13,104百万円	100.0%	2.5%増

(軽包装部門)

軽包装部門におきましては、電子レンジ用包装材「レンジDo!」、逆止弁付エア緩衝材「QOOPAQ」等、特化した製品は順調に売上げの伸びを示しましたが、食品業界において昨年のBSE問題に引き続き中国野菜の農薬、香料、偽装表示の問題等が発生し、消費者への不信感を高めることとなり、個人消費の低迷につながりました。食品包装が大きな比重を占める当部門は打撃を受け苦戦いたしました。その結果、数量では前年同期比4.3%減、売上高は63億69百万円で前年同期比5.0%減となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門におきましては、景気低迷による物流の停滞から引き続き、テープ業界等の厳しいシェア競争、輸入品等の安価攻勢による価格低下の中で伸び悩みました。その結果、数量では前年同期比6.0%減、売上高は38億5百万円で前年同期比2.8%減となりました。

(機能性材料部門)

機能性材料部門におきましては、IT関連、LCD(液晶表示装置)関連産業の回復があり、光学関連用途は順調に推移しました。一般用途も回復気配はわずかに

見られたものの本格的回復にはおよばず、下期以降に期待を寄せることとなりました。その結果、数量では前年同期比33.9%増、売上高は23億1百万円で前年同期比26.1%増となりました。

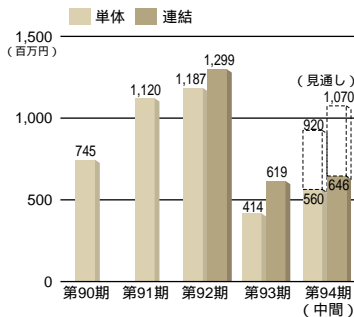
2. 当期の見通し

下期の見通しにつきましては、上期同様に景気は緩慢な動きが予想され、現在抱えているアメリカ経済の停滞、株式市場の低迷、雇用不安、個人消費マインドの停滞等の諸問題が残され、景気の先行きは、不透明感含みで推移するものと思われまます。

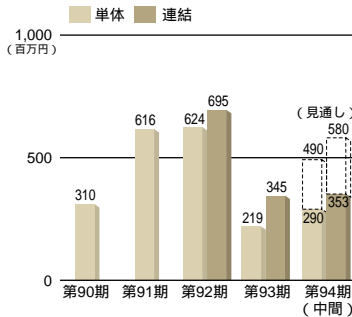
このような経済環境の中、当社といたしましては、軽包装、産業資材、機能性材料の三部門について、「製」「販」「技」の更なる一体化によるプロジェクト・チームを強化し、特化した製品の拡販、新製品の開発、品質の安定、合理化を強力に推進してまいります。併せて、全社を挙げて経費削減を実施し、収益力向上に全力を注いでまいります。

これにより、通期の見通しにつきましては、単体ベースでは、売上高260億00百万円(前期比4.2%増)、経常利益9億200百万円(前期比122.2%増)、当期純利益4億90百万円(前期比123.7%増)が予想されます。また、連結ベースでは、連結売上高299億00百万円(前期比3.0%増)、連結経常利益10億70百万円(前期比72.9%増)、連結当期純利益5億80百万円(前期比68.1%増)を見込んでおります。

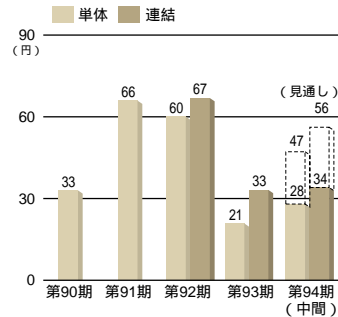
経常利益



当期(中間)純利益



1株当たり当期(中間)純利益



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前中間期 (平成13年9月30日現在)
資産の部		
現金及び預金	3,324,923	3,182,065
受取手形及び売掛金	10,010,491	10,073,946
有価証券	593	10,065
たな卸資産	3,289,292	3,585,290
その他	257,379	311,407
貸倒引当金	56,339	216,666
流動資産合計	16,826,341	16,946,110
建物及び構築物	2,017,251	2,038,950
機械装置及び運搬具	3,204,718	3,246,976
土地	801,614	801,614
建設仮勘定	482,692	987,158
その他	72,528	85,210
有形固定資産合計	6,578,804	7,159,910
無形固定資産合計	40,402	89,087
投資有価証券	2,214,542	2,246,876
長期貸付金	29,925	35,746
その他	723,211	532,116
貸倒引当金	179,799	38,901
投資その他の資産合計	2,787,881	2,775,838
固定資産合計	9,407,088	10,024,835
繰延資産	-	37
資産合計	26,233,430	26,970,983

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前中間期 (平成13年9月30日現在)
負債の部		
支払手形及び買掛金	5,792,359	6,095,861
短期借入金	3,721,000	3,621,000
一年以内償還予定社債	20,000	300,000
一年以内返済予定長期借入金	332,464	418,264
未払金	483,271	520,178
未払法人税等	222,325	69,645
賞与引当金	436,179	458,825
その他	299,602	528,574
流動負債合計	11,307,202	12,012,350
社債	320,000	-
長期借入金	589,242	921,706
退職給付引当金	910,842	869,371
役員退職慰労引当金	146,410	350,307
連結調整勘定	187,792	250,390
その他	62,509	95,716
固定負債合計	2,216,797	2,487,491
負債合計	13,524,000	14,499,841
少数株主持分	116,920	109,259
資本の部		
資本金	1,599,000	1,599,000
資本準備金	1,522,559	1,522,559
連結剰余金	9,203,428	8,844,740
その他有価証券評価差額金	278,842	405,332
自己株式	11,321	9,750
資本合計	12,592,509	12,361,882
負債、少数株主持分及び資本合計	26,233,430	26,970,983

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)	(平成13年4月1日～ 平成13年9月30日)
売上高	15,021,872	14,831,193
売上原価	12,941,420	13,009,716
売上総利益	2,080,451	1,821,476
販売費及び一般管理費	1,446,785	1,577,127
営業利益	633,665	244,348
営業外収益	66,034	67,576
受取利息	1,583	1,667
受取配当金	20,418	18,832
連結調整勘定償却額	31,298	31,298
その他	12,733	15,778
営業外費用	53,683	54,322
支払利息	33,868	42,787
その他	19,814	11,534
経常利益	646,017	257,602
特別利益	22,703	-
投資有価証券売却益	22,703	-
特別損失	56,281	1,439
会員権評価損	34,425	-
固定資産除却損	1,284	1,439
投資有価証券評価損	20,571	-
税金等調整前中間純利益	612,439	256,163
法人税、住民税及び事業税	253,908	103,579
少数株主利益(控除)	5,073	3,526
中間純利益	353,458	149,057

中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)	(平成13年4月1日～ 平成13年9月30日)
連結剰余金期首残高	8,968,872	8,821,241
連結剰余金減少高	118,902	125,558
配当金	72,152	72,158
役員賞与	46,750	53,400
中間純利益	353,458	149,057
連結剰余金中間期末残高	9,203,428	8,844,740

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)	(平成13年4月1日～ 平成13年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	859,960	585,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	266,928	825,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	260,949	331,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額	332,082	91,275
現金及び現金同等物の期首残高	2,993,434	3,100,855
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,325,517	3,192,131

単体財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成14年9月30日現在)	(平成13年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	15,306,512	15,112,342
現金預金	3,113,263	2,958,751
受取手形	4,229,689	4,582,930
売掛金	4,796,101	4,223,914
有価証券	593	10,065
たな卸資産	3,007,174	3,259,183
その他	213,088	287,819
貸倒引当金	53,398	210,323
固定資産	8,843,596	9,338,470
有形固定資産	5,490,663	6,046,246
建物	1,658,702	1,658,327
機械装置	2,814,713	2,809,208
土地	351,049	351,049
その他	666,197	1,227,661
無形固定資産	34,732	81,733
投資その他の資産	3,318,200	3,210,490
投資有価証券	2,169,418	2,132,479
関係会社株式	634,500	634,500
その他	694,064	482,399
貸倒引当金	179,782	38,889
繰延資産	-	37
資産合計	24,150,108	24,450,850

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成14年9月30日現在)	(平成13年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	9,991,613	10,310,020
支払手形	3,818,213	3,779,957
買掛金	1,371,489	1,294,951
短期借入金	3,301,000	3,301,000
未払金	422,169	454,036
未払法人税等	170,591	35,582
賞与引当金	360,000	385,000
その他	548,150	1,059,491
固定負債	1,800,486	1,872,140
社債	320,000	-
長期借入金	589,242	831,706
退職給付引当金	750,276	715,273
役員退職慰労引当金	120,710	307,807
その他	20,257	17,354
負債合計	11,792,100	12,182,161
資本の部		
資本金	1,599,000	1,599,000
資本準備金	1,522,559	1,522,559
利益準備金	335,983	335,983
別途積立金	8,190,000	8,090,000
中間未処分利益	429,071	303,842
その他有価証券評価差額金	292,715	417,303
自己株式	11,321	-
資本合計	12,358,008	12,268,689
負債・資本合計	24,150,108	24,450,850

中間損益計算書

(単位：千円)

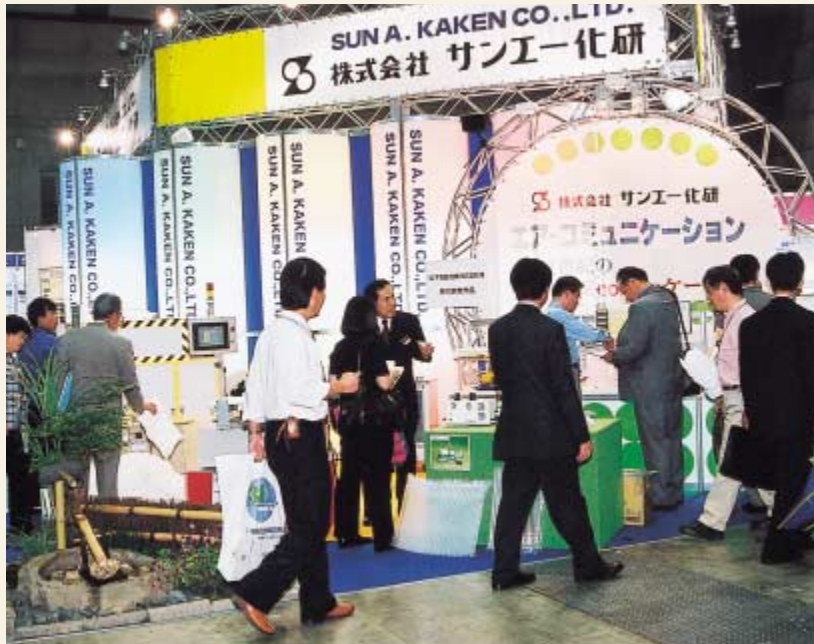
科 目	当中間期	前中間期
	(平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)	(平成13年4月1日～ 平成13年9月30日)
売上高	13,104,074	12,788,361
売上原価	11,304,399	11,243,554
売上総利益	1,799,674	1,544,806
販売費及び一般管理費	1,237,067	1,368,241
営業利益	562,607	176,564
営業外収益	47,177	48,626
受取利息	824	1,179
配当金	33,530	31,946
雑収入	12,822	15,500
営業外費用	49,133	47,133
支払利息	27,731	27,626
売上割引	4,580	7,447
雑損失	16,821	12,058
経常利益	560,651	178,057
特別利益	-	-
投資有価証券売却益	-	-
特別損失	49,736	1,439
固定資産除却損	1,181	1,439
投資有価証券評価損	14,129	-
会員権評価損	34,425	-
税引前中間純利益	510,915	176,618
法人税等	158,000	25,000
法人税等調整額	62,017	51,197
中間純利益	290,897	100,420
前期繰越利益	138,173	203,421
中間未処分利益	429,071	303,842

Topics

TOKYO PACK 2002 2002東京国際包装展へ出展

二年に一度行われる東京国際包装展が東京ビッグサイトで開催されました。〔会期：2002年10月1日（火）～5日（土）〕

当社は、軽包装部門から、新エア緩衝包装材エアモールドや、電子レンジ対応の包装材レンジDO！をはじめとしてサンシールMSR、B-PET、ケアパウチ、ポロソなど数多くの包装材を出展しました。また産業資材部門、機能性材料部門からもそれぞれ特色ある製品を出展し、注目を集めました。



Business News

高防湿PTPでダイキン工業 / ニチメンと業務提携

医薬品包装材として高防湿性PTPシート「テクニフィルム」を開発しました。「テクニフィルム」は、フッ素系樹脂（PCTFE）フィルムの優れた特性を生かし、従来品のPTPシートに比べ、防湿性は、2～5倍にアップし、その結果薬剤の保存期間は大幅に延長されることとなります。この開発に当社は、ダイキン工業 / ニチメンと業務提携し、初年度3億円の販売を予定しております。

ISO9001：2000の認証取得



製品の開発、製造、販売を対象に品質管理システムの国際規格である“ISO9001：2000”の認証を昨年12月に取得いたしました。

これに基づいて、品質管理の更なるレベルアップに努めてまいります。

概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都千代田区神田淡路町2-23-1
設立	昭和17年9月
資本金	15億99百万円
従業員数	465名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原料として軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護フィルム等、包装材料関連製品の製造と販売

役員

代表取締役社長	山田 次 夫
専務取締役	杉本 開 路
専務取締役	亀山 光 三
専務取締役	家島 裕 嵩
取締役	池野 勝 之
取締役	宮城 康 郎
取締役	鷲野 喜 八 郎
取締役	角田 幸 保
取締役	葛野 正
取締役	林 喜 久 雄
常勤監査役	野 寄 彰 道
監査役	渡 邊 薫
監査役	岡 本 知 久



当社ホームページのご紹介

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、新開発製品などについてお知らせするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。

ホームページアドレス： <http://www.sun-a-kaken.co.jp/>



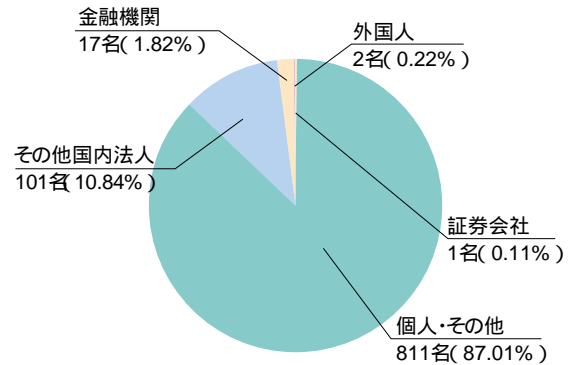
株式の状況

会社が発行する株式の総数.....24,000,000株
 発行済株式の総数.....10,320,000株
 株主数932名

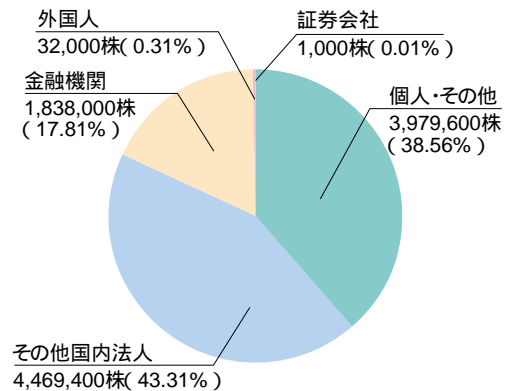
大株主の状況

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社岡本	1,807	17.51
昭和ボックス株式会社	1,244	12.06
サンエー化研社員持株会	446	4.33
みずほ信託退職給付信託 昭和ボックス口再信託受託者	300	2.91
日本スタートラスト信託銀行(株) 退職給付信託口昭和ボックス(株)	300	2.91
ニチメン株式会社	224	2.17
株式会社東京三菱銀行	200	1.94
株式会社みずほ銀行	200	1.94
株式会社UFJ銀行	150	1.45
株式会社三井住友銀行	150	1.45

所有者別株主数



所有者別株式数



株主メモ

決 算 期 毎年3月31日
定 時 株 主 総 会 毎年6月中
配当金支払い株主確定日 利益配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
基 準 日 3月31日

その他必要があるときは、取締役会で決議し、
あらかじめ公告する一定の日

1単元の株式の数 1,000株
名義書換代理人 東京都千代田区永田町二丁目11番1号(〒100-8212)
三菱信託銀行株式会社

同事務取扱所 東京都千代田区永田町二丁目11番1号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号(〒171-8508)
電話お問い合わせ先 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
電話03(5391)1900(代表)

(注)上記名義書換代理人住所および同事務取扱場所は、
平成15年5月6日に次の場所へ移転いたします。
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(なお、名義書換代理人連絡先の住所および電話番号は変更ございません。)

同 取 次 所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店

公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞

単元未満株式買取り請求所 名義書換代理人の事務取扱所および同取次所

 **株式会社 サンエー化研**
Sun A. Kaken Company, Limited.

東京都千代田区神田淡路町2-23-1
TEL.03-3258-3110 FAX.03-3258-3108

<http://www.sun-a-kaken.co.jp/>